

皐月、五月です。ゴールデンウィークも終わり学校もやっと勉強モードに入る頃かと思います。熊本の地震では改めて日本が地震列島の上にあることを自覚させられました。学ぶことを中断された熊本の生徒諸君の思いにはせ、一日も早い復旧のための支援をできる範囲でしてゆく必要を感じます。一方、こんな危機の時こそ、おちついて学問にはげむ、勉強することが大事になるのかもしれませんが。

そんな季節、今月もネットワークの活動を報告するとともに、授業に役立つ情報を提供いたします。

---

【 1 】最新活動報告

4月の活動を報告します。

【 2 】イベントカレンダー

年次大会の案内、部会の案内などを紹介します。

【 3 】授業のヒント

---

【 1 】最新活動報告

---

最新のニュース、4月に行われた活動などを報告します。

■夏の経済教室の案内、募集の準備が進んでいます。

|         |          |         |
|---------|----------|---------|
| 名古屋中学向け | 8月4日(木)  | ウイंकあいち |
| 名古屋高校向け | 8月5日(金)  | ウイंकあいち |
| 大阪中学向け  | 8月8日(月)  | 国民会館    |
| 大阪高校向け  | 8月9日(火)  | 国民会館    |
| 東京高校向け① | 8月18日(木) | 東証ホール   |
| 東京高校向け② | 8月19日(金) | 東証ホール   |
| 東京中学向け① | 8月22日(月) | 東証ホール   |
| 東京中学向け② | 8月23日(火) | 東証ホール   |

若い先生向けのBasic講座をはじめとして、教科書を読み解くシリーズ、アクティブラーニングのすすめ、中高の教科書分析、授業提案、現在の経済状況の分析など今年も授業で役立つ情報を提供する講座です。

案内のちらしは今月下旬には発送準備を完了して、6月上旬には各学校に送付される予定です。また、今月末には受け付けも始まります。

■大阪部会 (No. 48)を開催しました。

日時：2016年4月9日(土) 18時00分～20時00分

場所：同志社大学 大阪サテライト

出席者：15 名。

内容の概略：

(1) 篠原総一代表(京都学園大学)から最近の経済教育ネットワークの活動の報告があり、石山晴美氏(東京証券取引所)から夏の経済教室のスケジュール・内容が紹介されました。また、野間敏克先生(同志社大学)から、年次大会シンポジウムの様子が報告されました。

(2) 河原和之先生(立命館大学等)から、教材「マジで知りたい日本のあっちこっち ⑥島根って、昔から人口が少なかったの」(日本経済教育センター教材検討委員会編)が紹介され、授業での使い方が解説され、検討がおこなわれました。この教材を含めた完成された教材は夏の教室や冬の教室で紹介されてゆく予定です。

(3) 安野雄一先生(大阪教育大付属平野小学校)から「経済分野で実践するアクティブラーニング～TPP に対する価値判断授業を通して～」という活動報告がありました。これは小学校 5 年生を対象に、TPP の是非を題材に進められた活動型授業です。この授業実践には部会参加者からも高く評価されており、夏の経済教室でも全会場での報告が予定されています。

(4) 山本雅康先生氏(奈良学園中高)から、「高校生が理解しにくい経済概念について」が報告された。これは大学入試問題のなかから、i 需要・供給曲線 ii 信用創造 iii 比較生産費説 iv ゲーム理論に関連する問題に関する生徒の理解度を確認した結果を紹介したもので、経済理論と現実が起こっている問題との関係を教師はどう理解し生徒に伝えるのかという話題などに、議論が広がりました。

内容の詳細は以下をご覧ください。

<http://www.econ-edu.net/meeting/osaka/Osaka48report.pdf>

■東京部会 (No. 82) を開催しました。

日時：2016 年 4 月 14 日 (木) 19 時 00 分～21 時 30 分

場所：日本大学経済学部本館会議室

参加者：11 名

主な内容：

- (1) 夏の経済教室の内容の確認が石山晴美氏からありました。4 月末までには最終内容を確定しチラシ作製や案内状の作成準備、後援申請などにとりかかることが確認されました。
- (2) 12 月の冬の教室「地理を通して経済的な発想を学ぶ」に関する報告が加藤一誠先生(慶応義塾大学)からありました。12 月 27 日、慶応義塾大学で実施。日本経済教育センターで 2 年間かけて検討された教材を河原和之先生(立命館大学講師)の紹介と、加藤先生、河原典史先生(立命館大学教授)のコメントとフロアを含めた討論で構成する予定です。

(3) 各部会報告では、大阪部会に出席した篠原代表、石山氏から当日の報告がありました。また、新井から3月の年次大会の報告がありました。

(4) 教材の検討が三本ありました。第一は、塙枝里子先生（都立府中東高）の「公共料金の経済学―市場における政府の役割を考えてみましょう―」である。この教材は2月の東京部会で検討され、それをもとに改定したもので、自然独占、費用逦減産業、政府の役割（失敗も含め）を分かりやすく教えようと言う授業案です。公共料金の分類なども含め検討事項が残り、今後の実践を踏まえてさらに内容をブラッシュアップしてゆくことになりました。なお、この授業案は夏の教室で紹介される予定です。

(5) 二番目は、高橋勝也先生（都立武蔵高・中）の「景気変動や金融政策（アベノミクスと黒田緩和）を考える」です。この授業案はインセンティブをキーワードにして景気変動と黒田緩和の関係を考察させるねらいの教材案です。検討時間が十分に取れなかったこともあり、次回以降に検討を加えることになりました。

(6) 三番目は、新井の「主権者教育に経済の視点を」です。これは年次大会での松井克行先生（西九州大学）の報告をうけた18歳選挙権を視野に入れた新たな主権者教育の提案です。時間の関係で概略の紹介で終り、名古屋部会での検討に任せることになりました。

詳細は以下をご覧ください。

<http://www.econ-edu.net/meeting/tokyo/tokyo082reportR.pdf>

#### ■名古屋部会（No.6）を開催しました。

日時：2016年4月23日（土） 15時00分～17時00分

場所：椋山女学園大学 現代マネジメント学部棟3階303講義室

参加者：9名

内容の概略：

(1) 水野英雄先生（椋山女学園大学）より経済教育ネットワークの名古屋部会の本年度の活動について説明がありました。

(2) 渡辺力樹先生（愛知県立南陽高）より「金融経済教育の実践事例～体験型学習の効果的な活用法～」のテーマで、商業科の「ビジネス経済応用」における授業展開の報告がありました。起業教育としてのビジネスプランの作成や消費者教育・税教育としての産学連携による取組等の総合的な授業実践です。様々な取組を通じて生徒は多くの想定外の気づきがあること、教員にとってチラシのような身近なものが何でも教材になること、学校と連携したい企業や団体は多いことなどの指摘がありました。

(3) 新井（上智大学）より「主権者教育に経済の視点を」と、杉田孝之先生（千葉県立津田沼高）より「経済の基礎概念から設計する有権者教育の可能性」をテーマの授業提案がありました。新井からは選挙権が18歳からになったことで

主権者教育の取組が重要になっていること、経済教育としては公共選択論の観点からの取組が考えられることが示されました。杉田先生からは、機会費用などの経済の概念をもとにした投票率低下の問題や選挙制度と世代間の問題等を踏まえた授業実践の方向性が示され検討が行われました。

(4) 水野先生より、野村総合研究所主催小論文コンテストと名古屋証券取引所で行われている金融経済教育研究会についての紹介がありました。

内容の詳細は以下をご覧ください。

<http://www.econ-edu.net/meeting/nagoya/nagoya006report.pdf>

---

## 【 2 】 イベントカレンダー

---

\* イベント予定です。

■ 冬の経済教室を開催します。

日時： 2016年12月27日 13:00~16:45

場所： 慶應義塾大学 三田キャンパス 東館ホール

内容、参加方法は以下をご覧ください。

<http://www.econ-edu.net/announcement/keizaikyousitu/2016%20keizaikyoushitsu/2016GeoFuyukeizai.pdf>

\* 定例会会のお知らせです。(開催順)

■ 東京部会 (No. 83) を開催します

日時：2016年5月12日(木) 19:00~21:00

場所：日本大学経済学部 本館2階中会議室

内容、参加方法は以下をご覧ください。

<http://www.econ-edu.net/announcement/tokyo083flyer.pdf>

■ 札幌部会 (No. 15) を開催します

日時：2016年5月21日(土) 14時30分~17時00分

場所：キャリアバンクセミナールーム

札幌市中央区北5条西5丁目7 Sapporo55ビル5階

内容、参加方法は以下をご覧ください。

<http://www.econ-edu.net/meeting/Sapporo/Sapporo015flyer.pdf>

■ 大阪部会 (No. 49) を開催します

日時：2016年6月25日(土) 18時00分~20時00分

場所：同志社大学 大阪サテライト

大阪市北区梅田 1-12-17 梅田スクエアビルディング 17 階

内容、参加方法は以下をご覧ください。

<http://www.econ-edu.net/announcement/Osaka49flyer.pdf>

■名古屋部会 (No. 7) を開催します

日時：2016 年 7 月 2 日 (土) 15 時 00 分～17 時 00 分

場所：椋山女学園大学 現代マネジメント学部棟

地下鉄東山線「星ヶ丘」駅下車 6 番出口より左へ徒歩 5 分

内容、参加方法は以下をご覧ください。

<http://www.econ-edu.net/announcement/Nagoya006flyer.pdf>

---

【 3 】授業のヒント

---

■グラフを使いこなすには

ゴールデンウィークも終了しました。この間、旅行に行った先生方は宿泊代が高くなったことを実感したことだろうと思います。

さて、この現象を経済の授業で使うにはどんなやりかたがあるのでしょうか。教科書に登場する需要曲線と供給曲線を使ったらどう説明できますか。

この現象、中学校の教科書にあるグラフでは十分説明しきれません。高校で登場するシフトでなんとなく理解できるところまでゆければ上出来かもしれません。その際にも、教科書にある右上がりの供給曲線は垂直に近いものになっているのでかなりの説明が必要になります。

同じゴールデンウィークのスーパーマーケットは普段より閑散としていました。たぶん閉店間際の値引きも結構あったかもしれません。この閉店前の値引きという現象はどう説明できるのでしょうか。

こちらは教科書にある需要供給曲線で説明が可能ですが、それでも供給曲線は右上がりとは言えない場合もあることになります。

価格の変動に関して、このような違いがあるにもかかわらず、ある中学の教科書では「商品の価格はどうして高くなったり安くなったりするのだろうか」という問いかけをしています。そしてくだんのグラフが同じページに登場するのです。

私たちがよく見るこのグラフは完全競争市場でつくられたモデルとしてのグラフです。その説明がないので、現実の現象の説明をこのグラフでいきなりおこなおうとして混乱や困惑が生じるというわけです。

だから、中高の段階で経済を理解させるならグラフはいらないという主張もでてくるわけです。

もし、このグラフを使おうとする場合は、グラフのなりたちと性質を理解したうえで、限界をわきまえたうえで使いたいものです。それをやらないと、複雑な現象を単純化して本質を理解するための道具というグラフ利用の可能性を閉じてしまうことになりかねません。それは、ちょっともったいないと思うのですが、いかがでしょうか。 (新井)

---

【 4 】編集後記 (みみずのたはこと)

---

ゴールデンウィークに日本史の教科書を読み直してみました。経済に関する記述がずいぶん多くなり、充実しているのがわかりました。また、むかし覚えた事項も変わっているのにも注目しました。例えば、一揆です。中世の一揆では「結び」という表現になっていて、へーと思いました。時代とともに歴史像は変化しているのですね。

(新井)

---

=====  
登録に心当たりのない方、今後配信を希望されない方は下記会員ページよりお手続き下さい。

<http://www.econ-edu.net/aboutus/contact.html>

=====



---

編集・発行 : 経済教育ネットワーク

————— (C) Network for Economic Education ◆◇